

別紙-1 要望書(1)『小田急多摩線の延伸に伴う小山地区内に駅を設置する件』

平素から、交通網の整備につき格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、平成28年4月国土交通省の交通政策審議会がまとめた答申で小田急多摩線延伸については、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトの一つとして位置づけられました。

この答申によると小田急多摩線延伸に当たって駅は3駅で、新駅が1駅、後は相模原駅、上溝駅の結節駅で、新駅の設置場所は小山田バス折り返し所付近が想定されております。

当初の計画に盛り込まれていた開業時の小山地区内の駅設置は、3駅整備後のまちづくりの動向や需要の動向を踏まえた中での将来の検討課題となりました。

一方、平成31年3月「小田急多摩線延伸計画に関する関係者会議報告書」(以下、「関係者会議」という。)の「関係者の合意形成」の中に、「事業の円滑な実施にあたっては、地域住民の理解を得ることが重要であることから事業計画の策定段階においては、地域の意見を聞きながら地域と一体となって延伸の実現に向けて取り組む必要がある」と記されております。このことは、小山地区内に駅設置の可能性が残されたことと私どもは理解しております。関係者会議に記された趣旨を有難き配慮と受け止め「小山地区内に駅設置」について、引き続き要望・PR等の活動を行うこととして、本年も同様の要望書を提出させていただきました。

関係者会議の将来推計人口(平成30年3月推計)によると、平成27年(2015年)～令和27年(2045年)までの30年間(5年ごと)の人口伸び率は、東京都全体では1%増加、町田市は10%減少しています。一方、小山地区は31%増加(町田市人口推計データ)しています。小山地区の人口増が町田市全体の減少を少なからず抑えているものと、私どもは理解しております。

また、町田市人口推計データでは、令和27年(2045年)の町田市全

体の高齢化割合 38% に対し小山地区は 29% です。これは小山地区は民間業者による宅地開発が活発で若い世代の人達が多く移り住みつつあることと、小山地区内の小学校 3 校と中学校 1 校で学ぶ若い世代が高齢化の低下に大きく貢献しているものと思います。新たに小山地区内に居を構える住民にとって、また、現在小・中学校に通う生徒にとっても小山地区内に設置される駅は、交通利便性の提供に大きく貢献します。

私ども小山地区も、相模原駅・橋本駅両周辺と一体的エリアとなり首都圏南西部の広域交流拠点として機能し快適な都市生活が営めるまちづくりが実現されることを期待し、願っております。特に相模原エリアは、橋本に計画されているリニア中央新幹線新駅と相模総合補給廠の一部返還に伴う相乗効果、それと小田急多摩線相模原駅設置が決定したことによるトリプル効果で私どもの想像をはるかに超えた未来都市へと大きく変貌を遂げることと思います。そのため、首都圏南西部の広域交流拠点エリアとしての小山地区内の駅は真に必要な駅だと信じております。

私ども協議会は、小田急多摩線延伸の早期実現に賛同し、開通後小山地区内に駅(当初の計画では B 駅)設置について検討課題として是非取り上げていただきたく、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

また、町田市で策定を進めております、次の 20 年の都市づくりの方向性を示す「(仮称)町田市都市づくりのマスタープラン」、新たなまちづくりの基本構想・基本計画である「(仮称)まちだ未来づくりビジョン 2040」の中に、首都圏南西部の広域交流拠点として小山地区内の駅設置について取り上げていただきたく、重ねてお願い申し上げます。

令和 2 年 10 月 30 日

町田市小山町第一区連合町内会

会 長 功刀 光生

町田小山 小田急多摩線延伸促進協議会

会 長 近藤 一夫

要望書(2)『町田市道第698号線の拡幅と同市道が接続する町田街道の拡幅等の道路整備について』

平素から、交通網の整備につき格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、平成26年9月に小田急多摩線の延伸に伴う鉄道・道路用地約2ヘクタールを含めた概ね17ヘクタールの土地が国から返還されました。

その後、相模原市の道路整備計画に基づくJR相模原駅前を起点とした南北道路が平成29年4月に開通、町田街道と直結しました。平成30年3月には、東西道路も完成し南北道路と連結しました。現在、南北道路と東西道路は、暫定的に2車線で供用しておりますが、今後の相模原駅周辺のまちづくりにあわせて、改めて本整備を行う予定となっております。

これら道路の開通・直結により町田街道からの相模原方面への新たな道路ネットワークが整備されました。この新たな道路ネットワークの整備によりJR相模原駅へのアクセス性が向上し町田街道から町田市道堺第698号、そして南北道路・東西道路を利用する市民等が増加しております。また、町田街道の渋滞緩和に少なからず貢献しているものと思います。

つきましては、相模原方面への新たな道路ネットワークの利用増加の対応等として、南北道路と直結した町田市道堺第698号線の拡幅と、同市道が接続する町田街道当該箇所(町田市道堺第698号線)の拡幅等の道路整備を進めていただき、市民等が安全、安心して通行できるようお計らいいただきたくお願い申し上げます。

本道路の整備につき、特段のご配慮を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

令和2年10月30日

町田市小山町第一区連合町内会

会長 功刀 光生

町田小山 小田急多摩線延伸促進協議会

会長 近藤 一夫